

第3回 長官団交

欠陥システムの稼働に固執

混乱を徴収職員に押し付ける姿勢崩さず



長官の責任を追及する増山委員長、田山書記長ら交渉団

新徴収システム 中断、試行要求拒否

全国税 新徴収システム 果がある「万全の準備」は、重大な欠陥を抱えたまま実施したことが明らかとなった。職場に混乱、行政に甚大な損害を与えた。我々は、「1月導入はせず、せめて試行を」と求めてきたが、「効

果がある」
長官 導入当初から障害が発生している。事務はKSKと併用し、当面は一部の機能の運用制限を

かけた。今回の事態は重く受け止める。1日も早く安定的な運用ができるようにしたい。弾力的な事務運営も指示している。職員に情報提供し、適切な対応に努める。障

失われた一か月を返せ

目的は、係数把握・職員管理か

全国税 まず、職員に謝罪せよ。

長官 システムを作る時にバグはつきもの。少しずつ直しながら万全なシステムにしていく。今回の障害は想定を超えていた。謝罪より原因を検証することが、先決。

全国税 レスポンスが改善されたというが、帳票出力には1日かかった。1か月間、出張できなかったことを国民にどう説明するのか。

徴収の仕事はシステム入力か？

ノウハウ蓄積が失われる

全国税 システムを作り直し、試行し、出直せ。

総務課長 転出入もあり、一部の局試行は難しい。

長官 もともと効率化のために導入した。IT化

エラーは2月20日まで

に改善する。併用していく方がいい。事務が回らなくなっているという報告は受けていない。システムに、どう戻すか検討している。

長官 情報化の中でITを活用しつつ、ノウハウ



「システム導入判断は適切」と強弁する川北力長官

害は計画的に修正し、レスポンスは改善しつつある。早く万全な状態にしたい。KSKの必要なのは、再度使えるように閉鎖を開放している。障害が生じたことは残念。全国税 それだけのなか

か？「安全」と言っただけで済んだ。どう責任を取るのか。長官 前回、前々回の団交での指摘を受け、通常を上回るテストを行い、導入できると判断した。その時の判断は適切。想



回答する刀襦総務課長

非常勤職員の細切れ採用

適切に対応する(長官)

全国税 3月の更新時期では、継続勤務を希望する非常勤職員を優先して採用せよ。

長官 一昨年に指針を出した。適切に運用する。

全国税 3か月や6か月といった細切れ採用はさせないこと。「ワーク・シェアリング」と称して労働時間を一方的にはく奪した事例があったが、回答に沿った採用をせよ。

人事課長 指針に沿わない不適切な事例があれば対応したい。

を活かす徴収事務を進展させたい。
全国税 改めて、稼働終了時間を17時30分までとすることを求める。
長官 来署した納税者のために18時30分としており、その後は運用状況を見て考える。
全国税 改めて、稼働終了時間を17時30分までとすることを求める。
長官 来署した納税者のために18時30分としており、その後は運用状況を見て考える。

詰碁

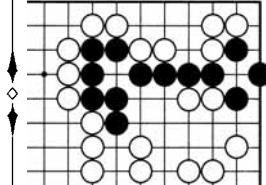
〈出題〉九段 石樽郁郎

黒先

〈ヒント〉

黒1、3の好手段から二眼にします。

(7分で二、三段以上)



そろばん弾

「ガラスの天井」という話を聞いたことありますか？

米国では会社での役職や昇格などの話題で、女性が越えられない、目に見えない限界を例える時よく使われるそう。私達の職場でも思いあたる方が多いのでは？
▼1958年(昭33)行(一)試験で、始めて女子が156名採用された。それ以来税大(税講)入校は強い要求であった。それから23年、国専・普通科へ女子も門戸が開かれた。職場の女性達は「これからは専門的な教育を受けて公務の仕事が出来る」と喜んだ。やっと「扉」が開かれたのだ▼「分厚い天井・重い扉・幾重もの壁、そして適材適所」など、さながら私の職場は建築現場の様だ。次の世代の為に築いていく誇りが沸いてくる。

